

「経営型人材マネジメントが切り拓く自治体変革」開催のお知らせ

2006年発足の「人材マネジメント部会」は、全国から70を超える自治体の参加を得るまでに進化しました。約1年間の参加を通じた研鑽と実践、組織変革に繋がる成果を希求する場として、世の中に稀な存在の位置づけを確立すべく活動を続けております。

部会参加者の手でつくりこまれる「所属自治体の組織変革へのシナリオ」は近年その品質を高めつつありますが、その一方で現場変革的な色合いを濃くしております。経営的な観点からの変革という点においては若手中堅も多い部会参加者には少々荷が重いテーマであることは否めない事実であります。

以上を踏まえつつ、本年度の人材マネジメント部会・夏季シンポジウムは、「経営型人材マネジメントが切り拓く自治体変革」と題し、各自治体の組織と人材のマネジメントを主管される経営幹部の皆様に向けた、特別の場とすべくご案内を差し上げるものです。

多忙を極めるトップリーダーが、どのように組織・人材をマネジメントしていけばよいのか、日常の空間では落ち着いて考えることができないテーマに、先進的な事例と解説、部会での実践研究から見えてきた次世代の経営理論を題材に、じっくり向き合い、考え、語り合ってください場をご提供させていただきます。

多数のご来場を賜りますよう心よりご祈念申し上げ、本シンポジウムのご案内とさせていただきます。

早稲田大学マニフェスト研究所

所長 北川 正恭

【各セッションのご案内】

「役所のドミナントロジックを変える～地域主権時代に向けた人材と組織の革新～」

元三重県知事で早稲田大学マニフェスト研究所所長の北川正恭が、地方分権時代の自治体に求められる人材・組織像を実現するために、役所を支配する思い込み・固定観念である「ドミナントロジック」と、その変革の必要性について講演します。



「自治体変革に向けたトップリーダーが果たすべき役割」

官民組織変革で多くの業績を持つ経営コンサルタント、人材マネジメント部会・部会長の出馬（いずま）幹也より、組織の未来を切り拓くための、トップリーダーが果たすべき役割を、シンプルな図式を用いて、わかりやすくご説明・ご提言いたします。



先進事例 「対話型職員育成の浸透を基軸とした市役所変革への挑戦」

広島県三次市より、“やらされ感・押し付け型”の変革とは一線を画した、組織の内発的な変革に挑戦した事例をご紹介します。目標管理評価制度の撤回等、過去の苦い経験を背景として組織全体が一丸となって進める活動は、自治体経営の未来を真剣に考える上で示唆に富む事例です。

事例解説 ～ 総括 「人材マネジメントによる内発的な組織変革」

再び出馬より、三次市事例を読み解き、自治体経営の本質的な「原理」とは何か、管理型から経営型の人材マネジメントに転換する具体的なアプローチとはどのようなものか、をご提言します。



トップリーダーのための対話の場（別会場にて）

第2部は、ご来場頂いたトップリーダーの皆さまに、小さなグループで対話をいただく場を設けます。数名様単位で班をつくり、部会の幹事をファシリテーターに、シンポジウムでの投げかけを素材に、思いを語り合ってくださいと考えています。後半は全体での対話とし、各班からの代表的なご意見やご質問に、北川、あるいは出馬がその場でご回答を差し上げて参ります。非日常の空間で、深く明るく経営を語り合う場に、是非ご来場下さい。

《会場へのアクセス》

- 第1部 早稲田大学 井深大記念ホール（東京都新宿区西早稲田1丁目20-14） ※図書館と隣接



【行き方】 電車：東西線 早稲田駅から徒歩10分

JRまたは西武線 高田馬場駅から徒歩20分

(※都電荒川線 早稲田駅から徒歩3分)

バス：学バスで「早大正門」で降りて徒歩10分

都営バスで「早稲田」で降りて徒歩5分

- 第2部 早稲田大学 22号館 201教室（東京都新宿区西早稲田1丁目7-14）



【行き方】 シンポジウム会場から出て、道路を挟んで斜向かいの建物の2階201教室です。